

2026 年 10 月 26 日

報道関係各位

京都産業大学 広報部

京都産業大学ギャラリー秋季特別展 「南蛮－異文化が交差した京都の記憶－」開催

京都産業大学ギャラリーでは2026年11月2日から、秋季特別展「南蛮－異文化が交差した京都の記憶－」を開催します。南蛮人がもたらした東西交流と、キリスト教の広がりから禁教・弾圧へと移り変わる歴史について展示します。ぜひ取材いただき、広くご紹介くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

【本件のポイント】

- ・16世紀中頃から17世紀にかけて、「南蛮人」と呼ばれたポルトガル人やスペイン人によって、日本にはさまざまな文物や文化がもたらされた。キリスト教もその一つで、フランシスコ・ザビエルの来日以降、京都でも1576年に「都の南蛮寺」として知られる教会の献堂式が行われるなど、当時の社会に広がっていた。2026年は「都の南蛮寺」の献堂から450年の節目の年にあたり、これを記念して本展を開催する。
- ・キリスト教を取り巻く状況は、時代が進むにつれて大きく変化していく。江戸幕府のもとではキリスト教の禁教政策が進められ、宣教師だけでなく信仰する人々も取り締まりの対象となった。本展では、布教活動を伝える資料や、キリスト教の禁制を示す制札、宗門を調査した帳簿などを展示し、キリスト教を受け入れた時代から、禁教・弾圧へと移っていく社会の変化をたどる。
- ・本展で展示される重要文化財「庁務大蔵卿等連署吉利支丹誓状」(妙法院蔵)は、キリスト教信仰を否定することを誓約させたもので、江戸幕府の禁教政策が門跡寺院にも及んでいたことを伝える重要な資料である。このほか、京都の南蛮寺跡から出土した「京都南蛮寺出土人物線刻硯」(同志社大学歴史資料館蔵)や、「キリシタン墓碑」(京都大学総合博物館蔵)など、禁教・弾圧の時代を経て現代に残る貴重な展示品も並ぶ。多様な資料を通して、南蛮人がもたらした東西交流と、キリスト教をめぐる動きを紹介する。

秋季特別展「南蛮－異文化が交差した京都の記憶－」

- ・開催期間 2026年11月2日(月)～12月12日(土)
 【前期】2026年11月2日(月)～11月22日(日)
 【後期】2026年11月25日(水)～12月12日(土)※一部展示替えあり。
- ・開催時間 10:00～16:30 ※水曜のみ13:00～ (入館受付16:00まで)
- ・休 館 日 日曜、祝日、11月24日(火)
 ※但し、11月3日(火・祝)、11月22日(日)、12月6日(日)は開館(10:00～16:30)
- ・場 所 京都産業大学ギャラリー(京都市下京区中堂寺命婦町1-10 むすびわざ館2階)
- ・入 館 料 無料
- ・主 催 京都産業大学ギャラリー

【関連イベント】

◆【講演会①】近世城郭と幻の南蛮寺

講師：中井 均 氏(滋賀県立大学名誉教授)

日時：2026年11月3日(火・祝)13:30～15:00(開場13:00)

会場：京都産業大学むすびわざ館ホール

(京都市下京区中堂寺命婦町1-10 むすびわざ館2階)

定員：200人(事前申込制・先着順)※定員に達した時点で受付終了

参加費：無料

◆【講演会②】16～17世紀のキリスト教と京都の社会・文化/
京都の武家女性とキリスト教

講師：若松 正志 教授(京都産業大学文化学部)

日向 志保 氏(総合研究大学院大学 博士後期課程)

日時：2026年11月14日(土)13:00～15:00(開場12:30)

会場：京都産業大学むすびわざ館ホール

定員：200人(事前申込制・先着順)※定員に達した時点で受付終了

参加費：無料

◆【講座】担当学芸員によるギャラリートーク①

講師：三木 沙友理(京都産業大学ギャラリー学芸員)

日時：2026年11月22日(日)13:30～14:45(開場13:00)

会場：京都産業大学ギャラリー展示室

定員：20人(事前申込制・先着順)※定員に達した時点で受付終了

参加費：無料

◆【講座】担当学芸員によるギャラリートーク②

講師：三木 沙友理(京都産業大学ギャラリー学芸員)

日時：2026年12月6日(日)13:30～14:45(開場13:00)

会場：京都産業大学ギャラリー展示室

定員：20人(事前申込制・先着順)※定員に達した時点で受付終了

参加費：無料

いずれも申し込みは京都産業大学ギャラリー公式Webサイトから受付。

※ご取材いただける場合は大変お手数をおかけいたしますが、取材前日の16時までに広報部まで連絡をいただきますよう、お願い申し上げます。

本件に関するお問い合わせ先

内容について：京都産業大学 むすびわざ館事務室 TEL:075-277-0254

取材について：京都産業大学 広報部 TEL:075-705-1411

秋季特別展

南蛮

—異文化が交差した京都の記憶—



2026.11.2^① → 12.12^②

京都産業大学ギャラリー

前期 | 11/ 2^① ~ 11/22^②
後期 | 11/25^③ ~ 12/12^④

入場
無料

開館時間 10:00 ~ 16:30 ※^⑤のみ 13:00 ~ 16:30 (入館はいずれも 16:00 まで)

休館日 日曜、祝日、11/24^⑥ ※11/3^⑦・^⑧、11/22^⑨、12/6^⑩は開館

主催：京都産業大学ギャラリー

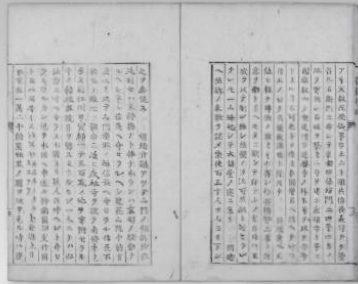
協力：一般財団法人 南蛮文化館、京都外国語大学附属図書館、京都大学総合博物館、
京都大学附属図書館、京都府立京都学・歴彩館、同志社大学歴史資料館、妙法院

画像①『日本イエズス会書簡集』(部分)(1598年)京都外国語大学附属図書館蔵 ②南蛮屏風(右隻部分)(16世紀)南蛮文化館蔵

16世紀中頃から17世紀にかけて来航したポルトガル人やスペイン人やヨーロッパ人は「南蛮人」と呼ばれ、鉄砲をはじめとするさまざまな文物を日本にもたらしました。キリスト教もその一つで、天文18年(1549)にフランシスコ・ザビエルが来日して以降、宣教師たちは各地で布教活動を展開します。天正4年(1576)、京都・四条坊門姥柳町にて献堂式が行われた「被昇天の聖母教会」は、「都の南蛮寺」として広く知られていましたが、禁教と弾圧が進むなかでその姿を消してしまいました。令和8年(2026)は、「都の南蛮寺」の献堂から450年にあたります。本展では、東西交流の広がりや禁教・弾圧の歴史を、貴重な資料を通して紹介します。



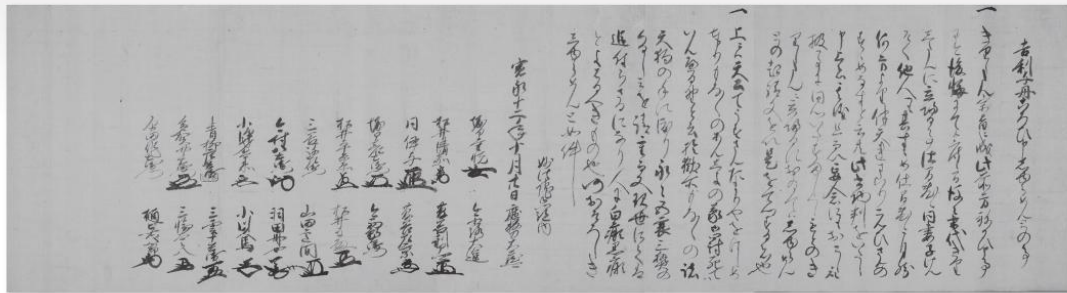
①京都南蛮寺出土人物線刻碑(16世紀)
同志社大学歴史資料館蔵



②『南蛮寺興廃記』(慶応4年(1868))
京都府立京都学・歴史館蔵



③キリシタン墓碑(慶長8(1603)年6月28日)
京都大学総合博物館蔵



④重要文化財 庁務大蔵卿等連署吉利支丹誓状(寛永12年(1635)) 妙法院蔵

関連イベント

講演会①

11月3日(火・祝) 13:30~15:00(開場13:00)

近世城郭と幻の南蛮寺

講師：中井 均 氏(滋賀県立大学名誉教授)

講演会②

11月14日(土) 13:00~15:00(開場12:30)

16~17世紀のキリスト教と京都の社会・文化

講師：若松 正志 氏(京都産業大学文化学部教授)

京都の武家女性とキリスト教

講師：日向 志保 氏(総合研究大学院大学 博士後期課程)

担当学芸員によるギャラリートーク

講師：三木 沙友理(京都産業大学ギャラリー学芸員)

日時：①11月22日(日) 13:30~14:45

②12月6日(日) 13:30~14:45

定員：各回20名 場所：京都産業大学ギャラリー展示室

<講演会①②とも>

会場：むすびわざ館ホール(むすびわざ館2階)

定員：200名(事前申込制・先着順)

<関連イベント申込>

申込先：<https://www.kyoto-su.ac.jp/campus/gallery/>

受付開始：2026年10月1日(土) 10:00~

参加費無料



問い合わせ先

京都産業大学

むすびわざ館事務室(ギャラリー)

京都市下京区中堂寺命婦町1-10

TEL：075-277-0254(平日9:00~16:30)

FAX：075-277-1699

E-mail：gallery-office@star.kyoto-su.ac.jp

Web サイト：<https://www.kyoto-su.ac.jp/campus/gallery/>

アクセス

- ・JR 丹波口駅より 徒歩約7分
- ・阪急 大宮駅・京福 四条大宮駅より 徒歩約11分
- ・市バス 大宮松原または五条壬生川より徒歩約5分

駐車場・駐輪場はございませんので、ご来館の際には公共交通機関をご利用ください。

